

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(集排)大平地区施設管理事業	会計名称	農業集落排水特別会計		担当課	下水道課	
		予算科目	1 款 1 項 1 目	事業番号	9000	所属長名	角田栄治
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	小寺卓也	
法令根拠等	浄化槽法、水質汚濁防止法、伊予市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
	潤いのある水環境づくり						
総合計画における本事業の役割	子どもからお年寄りまでが快適に生活できる環境を構築						
事業の対象	大平地区農業集落排水処理施設の管理運営		事業の目的	1.適切な維持管理運営により、施設の機能維持と延命化を図る。 2.水処理及び汚泥処理を適切に行うとともに放流水質の安定化を図り、併せて農業用水及び公共用水域の水質保全を図る。			
事業の内容(整備内容)	大平地区農業集落排水処理施設の維持管理		昨年度の課題に対する具体的な改善策	包括的民間委託の導入を含め、今後は公共下水道との統合に向けた検討を行う。			

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28年度実績	29年度予定	9月末の実績	29年度実績
財源内訳	直接事業費	27,347	25,277	0	0	0	24,747	施設の維持管理運営	千円	29369	27281	9318	26751
	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0	汚水処理量	m3	160572	17000	85710	170017
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0						
一般財源		27,347	25,277	0	0	0	24,747	流入水の点検確認	回	12	12	6	12
職員の人工（にんく）数		0.25	0.25				0.25						
1人当たりの人件費単価		8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費十人件費		29,369	27,281				26,751						
主な実施主体		直接実施、業務委託		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		施設管理費（委託料14,272千円）							
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）						30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5年間の合計		
						30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	150,000		
成果指標	指標	BOD除去率及び汚水処理コスト				単位	⇒	区分年度	28年度	29年度	30年度	目標	毎年度
						%、円/m3		目標	90%以上(210円/㎡以内)	90%以上(190円/㎡以内)	90%以上	90%以上	
	指標設定の考え方	安定した放流水質を確保するとともに、汚水処理コストを年度比較し、処理能力を最大限に発揮できるよう施設の効率的な運営に努める。						実績	99.2%(183円/㎡ ³)	99.2%以上(157円/㎡以内)			
								指標で表せない効果	今後の人口減少に伴う流入量減少におけるコスト削減				

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）			施設更新や維持管理に係るコスト低減及び人口減少・稼働率低下対策として公共下水道との統合にむけて検討を行う。									
事業 												

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		■	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
			接続率向上を図る計画立案を講ずること。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の経営 最終者 判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	二次判定の内容を踏まえ見直すこと。
	☐	現状のまま継続する。	
	■	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	